

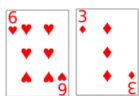
あそ トランプゲームをして遊びませんか？

おいちよかぶ

このゲームの目的は、カードに出ている数の合計を9にすることです。例えば、5と4を足せば9になりますね。

このゲームでは、エース(1と数えます)と2から10までのカードだけを使います。キング、クイーン、ジャックは使いません。ですから、全部で40枚のカードで始めます。

1. ディーラー(親)は、各プレイヤーに1枚ずつカードを表向きにして配ります。
2. 次に、各プレイヤーにそれぞれもう1枚ずつカードを伏せて配ります。
3. 各プレイヤーもそのカードを見て、それを伏せておきます。そこで、プレイヤーはもう1枚カードが欲しいか、それとも2枚だけでいいのか決めます。
4. ここでプレイヤーはみな、2枚か3枚のカードを開けて見せなければなりません。そしてカードの合計の数字がわかります。このとき、合計された数字の一の位の数が得点となります。少し例を見てみましょう。



6と3ですから、合計は9です。この数はこのゲームで一番いい得点ですから、もちろん3枚目のカードは要りませんね。



では、最初に7と5をもらった場合はどうでしょう。合計がすでに10を超えていますから、もう1枚必要です。なぜなら7と5の合計は12で、一の位の数は2ですから、とても低い得点です。もし次に7が来たら、合計が19になってとてもいいです。運が良かったと言えます。



もし、7と3を始めにもらっていたら、もちろん3枚目を要求します。7と3の合計は10で、一の位は0、これは最低の得点だからです。そして、3枚目は5でしたから合計は15になりました。でも、一の位は5ですから、0よりはましですが、あまり高い得点とは言えませんね。

面白いことは、ヤクザ(日本のマフィア)の名前の元は、このゲームから来ていると言われていることです。このゲームで「ヤクザ」は最悪の組み合わせです。つまり「ヤ」は8、「ク」は9、「ザ」は3の別の読み方なので、これらの数字の合計は20、得点が0になるからです。

さんすう

算数カードゲーム

1. カードの中から、ジャックとクイーンとキングを全部取って、1つの山にして伏せておきます。ジャックは「^た足す」、クイーンは「^ひ引く」、キングは「^かける」のカードになります。
2. 残りのカードを二つの山に分けて、それぞれ伏せてジャックなどのカードの両側におきます。
3. プレーヤーは順番に、それぞれの山からカードを1枚ずつ取り、並べてその数で計算式を言います。
下に例を示します。



10 + 1 = 11 じゅう たす いち は じゅういち

べんり ひょうげん: 便利な表現:

ハート
ダイヤ
スペード
クラブ
かった！
まけた！
わたしのばん
あなたのばん

はちが あります
はちは ありません
エース、キング、クイーン、ジャック
カードのおもて、うら
カードを山にして真ん中に置く
カードをくばる
カードをひく／とる
カードをふせる、あける／めくる

とけいまわ とけい はんたいまわ
時計回り、時計と反対回り

